

日六月九

常磐每日新聞

定価 一月五元 三月十五元 半年三十元 一年六十元
 廣告料 五號十二字 日一行 五拾銭
 日曜祭日の日 休刊
 発行所 常磐毎日新聞社
 印刷所 常磐毎日印刷株式会社

馬事雜感

T K 生

歐米に於ては社會的地位を有する人達は何れも此の馬の事を理解し關係する事の一つの名譽なり義務なりと考へる前述の歴史に基く習慣を持つてゐます。又此の競技の優勝者は超特別の英雄的待遇を受けることになつてゐます。又各國の選手たる將校連は皆國賓的な待遇を受け競技以外の時間は絶えず知名の士に交つて隔意なき外交的色彩濃厚な社交をする役目を持つて居ます。何だか我田引水の感があります。吾々豫想外では何でも何でもありません。従つて一般の馬術競

ノット
 シジミの泥を吐かせるには鐵氣のものと一緒に水に入れて置く

技を観る目も實に高く唯單に勝つたの負けただのばかりの單純な感激ばかりして居りません。馬術はもとく他の競技の如く人間そのもの奮發ばかりで勝てるものではないです。平素より永い年月かゝつて細心なる注意やら完全な設備の下に

調教訓練された馬で、又何回となく競技場裡に出入した老幼な技能を持つた人馬が一體の如くなり、眞に鞍上鞍下人無し馬無しの域に達し而も當日に於ける馬のコンディションが最上である場合始めて勝を得るものなのです。實にデリケート

明日の献立

【朝】味噌汁——茄子 小井 納豆
 【晝】さつま芋艶煮 大根おろし
 【晚】五目すし

なもので馬が良ければ勝てる人が上手なら勝ると云つたものではありません。又馬に乗つてゐるからには自然落馬するといふチャン

スはいくら上手になつても或る程度迄は逃れ得られないものです。猿も木から落ちるの誓ひ、落馬したからと言つて下手と言はれてはかなひません、負けたからと言つても見方に依つては實に上手な立派な乗り方だつた、氣の毒に運が無かつたのだ、といふ風な目を持つて、戴き度いと思ふのです。餘り取り止めのない事を長々と書きましたが、要するに吾々は前にもお話しした



俳句

石田 秋月

赤土のかべに陽薄し懸大根
 寒月や水に走りて何の鳥
 秋風にかすれて寒きけむりかな
 コスモスや縁にぼしたる紅蒲團
 秋晴れやスク／＼肥ろ池の鯉
 鳥たち枯草揺るや後の月

耳鼻咽喉科専門

大和田醫院
 平町南町一六(電話七二〇番)

是非!

御融通には御利用下さい
 萬事便利な御相談に應じます

三井質店
 平四・電六〇六番

吸入用酸素純度99%

度量衡
 モノサシ
 マス
 ハカリ
 計量器
 體溫計
 寒暖計

秤ノ取緒・垂糸・修繕致シマス

關内藥局
 電話四〇番

寫真材料一式販賣致シマス

平町 鍛冶町七

中村齒科醫院



玉屋洋品店
 平町田町通(電話六五六番)

店員募集

年齢十五、六才、希望者は至急来店あれ

石炭

一俵十八錢ヨリ
 多少に拘らず御用命下さい、直ちに配達致します。

平町十五丁目 電四六番
 エビスヤ燃料店
 東洋火災保險株式會社平中央代理店

酣はの秋!!

是非! 素晴らしく乗心地のよい
 セリザワのニューカーを御用命下さい。

平・三 芹澤タクシー

電 395 番

景氣の反面に

小炭礦の四難八苦

滞納整理の税務署長が

驚き呆れて逃げ歸る

らも未だ

取引商店 から到着し

てゐないので斯の始末と頭

をかいて打明けられた炭礦

景氣の陰に忘れられた少炭

礦の悲惨な實状をマザ／＼

と見せつけられ思はずホロ

リとした署長さん滞納整理

の「タ」の字も口には出せ

ず逃げる様にして歸平、結

局山田村までの往復も骨折

損となつたとか……

道路境界

地主と協定

平町では十日午前九時から

土木委員会を開き高麗橋架

替による道路境界に就て

協議の後委員は関係地主と

ともに現場調査すると

自費なら和服で

間に合せたいと

局長が官給の運動

郡内限なく

産業組合網

低資融通内定

郵便集配

豊間の陳情

四倉の蘭市場

刑務所長出張

能代町有志

平町人事

高久病院

一冊の代金

自由で読む

川崎文庫

吉田眼科病院

西村屋薬局

体温計の検査日

お宅の体温計は?

滞納整理に山田村の僻地に直々出張した唯野平税務署長さんが肝心の相手の窮乏に見兼ねてそのまゝ手を空しく歸つたといふ人情噺——山田村にある吉村炭礦は昭和七年度以來

礦産税を滞納して幾度督促しても納付しないのに業を煮やした唯野署長、この程草鞋履きでテク／＼山田村の炭礦事務所へ出掛けるところ

風呂敷や、ボロ蓑をかへた抗夫やその家族が礦業所前に黒山の如く押しかけてゐるので争議突発かと驚いて事務所の職員に事情を聞いたところ同礦は最近極度に

行詰まり 四苦八苦で經營を續けてゐたが資金難のため八方塞りの礦主が数日前金策のため上京したが會計日の今日に至つても音沙汰ないので止むを得ず窮餘の一策として抗夫の

家族一名に對して米五合宛を支給し一時を凌ぐことにしたが事務所の金庫もアクビをして有様なので三合宛に減らしたがる

取引商店 から到着してゐないので斯の始末と頭をかいて打明けられた炭礦景氣の陰に忘れられた少炭礦の悲惨な實状をマザ／＼と見せつけられ思はずホロリとした署長さん滞納整理の「タ」の字も口には出せず逃げる様にして歸平、結局山田村までの往復も骨折損となつたとか……

平町では十日午前九時から土木委員会を開き高麗橋架替による道路境界に就て協議の後委員は関係地主とともに現場調査すると

既報平郵便局では昨五日午後三時より女子従業員六十餘名を集め戸石局長から洋装の制服に改めたいがと意見や希望を聴取した處いづれも口を揃へて官給品ならば是非洋装にして貰ひ度いが自費負擔なら持ち合せの和服で間に合せたいと至極尤もな意見なので能率増進の上から洋装採用の意嚮である局長は早速仙臺通信局に向つて官給の運動を行ふ模様であるが實現するとしても豫算の關係等で實施は來年度になるらしいと

設立準備中の川部産業組合は一口二十圓として三百名で千口出資、年内に第一回の拂込みを完了することになつたがこの外飯野、神谷、磐崎の三村もそれ／＼設立の準備を進めてゐるので年内までに山間地の一二町村を除き郡下一圓に産業組合網が完備されるわけである

既報平町では本年度の道路巨款

事業費の財源として逓信省簡易保険局に一萬圓低資融通を申請中であつたが昨日保険局では右資金の貸付を内定したと

今年度より新設された豊間郵便取扱所は無集配局で不便が少ないのを遺憾とし鈴木同村々長及び高橋漁業組合長連署でこの程逓信省に對し集配實施方を陳情したが鈴木代議士も實現のため応援中であると

警中級長決定 警中では本日各學年に於ける後期正副級長を左の如く決定

(一)一 諸橋富彌、秋山慎平(二)二 松尾國博、薄葉行雄(三)三 上坂常馨、曳地岩男(四)四 植村力夫、木田普平(五)五 星野剛、坂本行藏

(二)一 白土弘、伊藤茂(二)二 馬目一郎、阿部豊司(三)三 山崎道雄、北郷繁(四)四 根本忠雄、松崎徳明(五)五 橋本光雄、野木孝司(三)三 小松明世、鈴木洋三(三)三 山名光男、大原馨(三)三 志村憲助、和田壽夫(三)三 鈴木洋一郎、長瀬高行(三)三 北郷正明、草薙健(四)四 大内二郎、吉田勇(四)四 殿木隆之、太田正己(四)四 水野亨、中澤登(四)四 堀深、佐藤政雄(四)四 佐藤忠一、東海林勇(五)五 山崎研治、香取

良一(五)五 渡邊仁作、石田隆男(五)五 赤津作衛、根本善一郎(五)五 加古信次郎、高階次郎(五)五 渡邊四良、増尾克善

日の取引は五百九十四貫五十匁、最高十七圓四十錢、最低十二圓十錢、馴十五圓七十錢にてその前日一圓以上の値上りであつたのが昨日は八十錢の安値となつた

平刑務所長出張 平刑務所長本庄吉助氏は今明の二日間仙臺市公會堂に於て開かれる宮城控訴院管内司法保護事業會議に出席の爲め出張した

秋田縣能代町長及び地元代議士縣議學務委員の一行八名は明七日平町市内各小學校に於ける教育施設視察の爲め來平すると

郵政局對抗野球延期 既報縣内一二等郵便局の野球リーグ戦は卅日に延期されたので平局チームは新メンバーで猛練習を開始したが本大會は今後毎年繼續開催される事に決定した

平商体育調べ 平商では来る十月十五日全校生に對し体育テストを開始す

平町人事

回出生

△紺屋町六五 當時好間村大字上好間小館 片野龜吉氏四界貞信さん

回死

△長橋町一六 當時東京市荒川區町屋一丁目 齊藤藤吉氏孫クニ子さん(一ツ)

一冊の代金で御希望通りな五冊の雜誌が自由に讀める

川崎文庫 電六三〇番 (申込次第規則書進呈)

高久病院

院長 醫學士 高久 忠
 副院長 新潟醫學士 赤羽 清
 藥局長 藥劑師 佐竹 菊雄

平町田町 電話五一三番

内科小兒科 外科花柳病科
 耳鼻咽喉科 レントゲン科

吉田眼科病院

平紺屋町 電話六八番
 醫學士 吉田 久雄

西村屋薬局

電三番

体温計の検査日です

10日 機設新 お宅の体温計は?

◎正確な体温計を御使用下さい
 ◎毎月十日の検査日御利用下さい

度量衡 指定販賣人

就職者は女ばかり

平紹介所去月は不成績

平職業紹介所の去月中の成績は求人三十七、求職五十一名であつたが就職者は僅かに女五名といふ不成績であつた

- ▲求人男二六、女一一
- ▲求職男三七、女一四
- ▲就職女五

殴り代三百六十圓

早速耳を揃へて支拂へと

ぬれ衣の男が請求

永戸村大字下永井字火澤三〇八荷馬車挽藁谷金太(三)は同村字輕井澤一六藁藪谷武男(三)の義理の娘キチ(三)と關係女子を分婉させ乍ら何一つ面倒を見ないと武男に散々殴打され全治約二週間を要する腦震盪症及右後頭部打撲傷を負はされた事既記の如くであるが此程前記キチの生んだ子は他の男の胤と判り俺を殴つたのはお門違ひだと許り金太は激昂大嶺辯護士を代理とし療代、損害賠償金、慰籍金等合計三百六十一圓の請求訴訟を提起した

ラヂオ体操

皆勤表彰

第二校にて

平第二校は明日ラヂオ体操の皆勤児童三百九十九名の表彰式を行ふが各學年に於ける皆勤児童数は左の如くである

- (一年)六五 (二年)三七
- (三年)五九 (四年)五〇

樺太西海岸須取町樺工會社々宅四四五十嵐廣太郎方に居住する猪狩ユマ(三)を相手取り過般平支郎は離婚無効の訴を提起した事は既報の如くであるが本日右は被告の所在地才判所に提出すべきものであつて平支部に提出したのは管轄違ひであるとして却下された

水難慰靈

愛谷で流燈會

好間村愛谷青年分團では水難者慰靈のため来る八日愛谷堰で流燈會を催す

郡内荒し

三犯の賊

平署に捕る

内郷村大字宮崎盜前科三犯草野儀一(三)は去月二十二日好間村上好間草野梅所有の腕時計価格十五圓を窃取四日同村地内を徘徊中を平署員に逮捕、目下餘罪取調中であるが郡内各所で二十件の窃盜を働いた強か者である

聯合演習

十一月中旬頃

警中及び平商教練部では今年も聯合演習を行ふ準備中であるが大體来る十一月十六日頃の豫定であると

離婚無効

訴訟却下

管轄が違ふ

好間村大字中好間字田中六二鮮魚商高橋符元(三)さんが勝手に印鑑其他を偽造して離婚届を出した自分の妻



天 今晩も明日も北東の風曇小雨模様

今晚の部

後六、〇〇 子供の時間
歌とハーモニカとアツコ
イデオ
外數人
後六、二五 講演 樺太與

より警中會議室に於て開かれるが申込み分團は目下の

賣上げが仲々多い

平驛ホームの賣店

平驛ホームの片隅にある旅客相手の賣店は毎月相當な成績を上げて居るが八月中の總賣上高を見ると二百三圓四十五錢でその大半は和洋菓子類の百八圓五十二錢で占められ次ぎは煙草の四十二圓八十二錢、果實三十一圓五十五錢、和洋酒十圓八十二錢等が主である

第二視察旅行

二小學校津田校長以下十四名の職員は来る十四日より三日間飯野八幡宮祭典の休日を利用して茨城、千葉、東京方面に於ける各學校視察に出張する由

前借踏倒女給

南町カフエー相馬女給相馬郡中村町生れ佐藤バル(三)は昨五日午後七時頃前借八十圓を踏み倒して逃走、同夜四倉驛前を徘徊中平署の手に配により四倉署に逮捕された

平職案紹介所報告

求人求める方
△店員 三十才以下 尋卒

第三夜 神田須田町、柳亭より中繼
後九、三〇 時報ニユース
氣象通報 番組豫告

明日の部

前六、三〇 處世講話「非常時日本の農村青年へ」
農學博士松井謙吉
前七、一〇 聖典講義「歎異鈔講本」(五)梅原真隆
前八、〇〇 俳句の手ほどき(五) 高濱虛子

以上 月五圓位迄

△雜婦四名 五十才以下
學力不問 日給四十錢
△外交販賣 十八—四十才
位迄 高卒 歩合

△女中 十八—三十才位迄
學力不問 月給三圓位
△農夫 四十才位迄 學力不問 年百圓位
△女中 二十才前後 高卒 月八圓—十圓

前九、一〇 料理献立 朴澤松操女學校發表
後〇、〇五 モダン小咄
金平軍之助外大勢
後六、〇〇 子供の時間
お話「人体めぐり」(六)
醫學博士 都築益世
後七、三〇 講演 特命全權大使 佐藤尚武 梅若方三郎外大勢
後八、五〇 舞臺劇「筑摩の湯」澤村納子外大勢

回職を求める方

△土工夫 三十九才 高卒
△炊事婦 四十三才 尋三修
△土工夫 二十二才 高卒
△女工 十七才 高卒
△女中 三十九才 高一修
△新聞配達 二十二才 高卒
△土木建築 三十才 早稲田工手卒

レメドール

宮温湯

たんぽあめ

靈薬ムテキ

平町古鍛冶町一〇

阿康藥舗

縣社ノ下 電話四四番

米國製劑皮膚病良藥
子宮病、根切藥、下腹や腰の痛みをなほす事妙な
子宮病、根切藥、下腹や腰の痛みをなほす事妙な
子宮病、根切藥、下腹や腰の痛みをなほす事妙な

浮名新音頭

(藤野上院及上院)

田邊南龍(作)
山本英春(監)

一二七:
自分から御暇願

「ハ、ハ……」
其晩はそれで済んだ、久之進は殿様のお氣に入りて毎日御相手を申上げて居る者、病氣屈をして出て來ないから殿様が

「久之進は如何いたした」
近侍の者が
「少々風邪でございます」
「あ、左様か、大切にしろと申付けよ」

「有難い御意でございます早速申し通じます」
「癒つたら出て來るやうに致せよ」

五日七日と經つて傷は少しのことであるから癒るには癒つたが、痕がすつかり消えてしまはない、お父上はこれを見て

「ア、困つたな傷はいえて痛みは去つたが、後がどうも恁皆なほらぬは困つた、風邪を冒いて顔へ傷がつくと云ふのは可笑しい、まあ、醫者のいふには傷も消えるだらうと云ふから其内になほるだらう」

處が家中では其噂がバツと立つた

「久之進は江田の仁兵衛と口論をして庭へたゞき付けられたと云ふぢやないか」
「風邪を引いて休んで居る

と云ふのは嘘で何でも仁兵衛に酷く投られたと云ふことだ」
「然うかそりやア知らなかつた」
と云ふ様な工合で段々噂が高まつて來た、黙つて居られない御家老早速伴久之

門と圍碁を致して居りまして私が少し負けさうな氣味で考へて居りますと江田先生が傍から助言を致しました、一言二言の争ひから當人に庭へ投げ出されまして石へ當つて斯様な傷がつかしました」
「然うか、表向きになると困つたものだ、何とか内分の所置を取りたいものだ」
心配して居る折柄城中からお召し、早速登城に及んだ御前體へ出る、すると殿様は



進を呼んで
「伴、お前は江田先生に庭へ叩き付けられたと云ふ話だが左様か」
「お父上、然うお尋ねを蒙りますれば是非もございません、申し上げます、善右衛

衛の爲に傷を付けられたと云ふ事であるが、捨て置く」と云ふことはあるまい」
と云ふ仰せ、久太夫は平伏に及んで
「どうかお慈悲を持ちまして御内分の御沙汰を願ひた

うございませぬ、左もなくば、仁兵衛はお暇になり伴は切腹仰せ付けられるやうでは誠に不感でございます」
「ア、左様か、イヤ其の心配は尤もだ、然らば予は聞かぬことに致さう」
一名君だから、差障りのないやうに何とも仰しやらない、それで御前體は済んだが、済まないのは仁兵衛
「ア、久之進殿の顔へ傷が付いて御前のお耳にまで入つた、久之進の父が拙者を掩つて御内の御沙汰を願つて呉れたが、夫で宜いわとは云つて居られない、ア、酒は悪い、何を拙者が取つて投げるにも及ばなかつた氣の毒な事をした、是れはお暇を願つて出やう先方からお暇になるより、其の方が宜い、是は立退くとしやう」
其處で上へは武術修行の爲お暇を願ふと云ふ書付を差出す。

夜間診療

胃腸病科 内科
皮膚科 性病科

花柳病科
性病科
皮膚科

院醫科性病胃腸村松
(番七〇一電町南町平)

● 理料鳥節季 ●

やな川
うな
な
ぎ
は

平田町
魚榮へ

配達迅速
電話四二四

かつを
塩から

魚問屋

店理代平命生本日大最優最
榮 盛 賀 志
(三一二電)目丁四平

今年も例年通り

かまぼこ製造

お惣菜用
さつま揚
吉原揚

相はじめました何卒御用命の程!

平町一丁目

不味實

電話一四一番

耳鼻咽喉科専門

病室完備
自炊便有

山内醫院

醫學士 山内亨吉

平田町 (電話六九一番)